

平成 29 年 9 月 1 日

応用地質株式会社

報 道 関 係 各 位

OYO フェア 2017 「OYO が提案する ICT を活用したソリューション」
10 月 12 日・13 日 東京秋葉原で開催！

応用地質株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：成田賢）は、10 月 12 日（木）・13 日（金）に OYO フェア 2017 を東京秋葉原で開催いたします。



OYOフェア 2017

10月12日(木) - 13日(金) 秋葉原UDX 4階

少子高齢化の進展に伴い生産年齢人口が減少し、近年、各方面で生産性向上が求められています。一方、自然災害の激甚化、再生エネルギーの需要拡大、社会インフラの老朽化など、私たちの社会を取り巻く環境は日々困難の度合いを強めています。弊社グループでは今、これらの諸問題を解決するため、地球科学と最先端の情報通信技術 ICT とを組み合わせた、新たなソリューションの開発を進めています。今回の OYO フェア 2017 は、このようなグループの取組みを反映して、テーマを『OYO が提案する ICT を活用したソリューション』といたしました。

弊社は今年、創立 60 周年を迎えました。会場では、創業からの歩みをふりかえるとともに、従来よりも展示スペースを拡大した上、最新のソリューションやモニタリングシステムなどを多数展示いたします。また、60 周年記念として、各方面の第一線で活躍されている専門家の皆様に講演者としてお招きし、特別セミナーも企画いたしました。入場無料、予約不要です。是非、お越し下さい。

OYO フェア 2017 特設サイト：<https://www.oyo.co.jp/exhibition/oyo-fair-2017/>

■セミナーは特別招待講演を含めて 10 編を予定

- A. 巨大地震の経済被害シミュレーション～合理的減災政策の提言に向けて～
- B. 災害や危機に強い観光大国の実現～観光レジリエンスをめざして～
- C. 首都直下地震から考える都市の地震ハザード
- D. 建物はすべて、データになる。
～地盤リスク対応を備えた BIM-FM PLATFORM の構築～
- E. 地盤調査に求められる技術革新 ～ICT で進化するサウンディング技術～
- F. 倒木事故を未然に防ぐ！～グリーンインフラ時代における総合樹木管理～
- G. ICT 時代のインフラ維持管理 ～効果的な管理体制の構築～
- H. 海外インフラ輸出における地質・地震リスクのマネジメント
- I. 改正土壌汚染対策法、ここがポイント！
- J. 斜面 CIM への挑戦 ～3次元物理探査の開発と斜面 CIM 構築へのロードマップ～
(※A～D は特別招待講演)

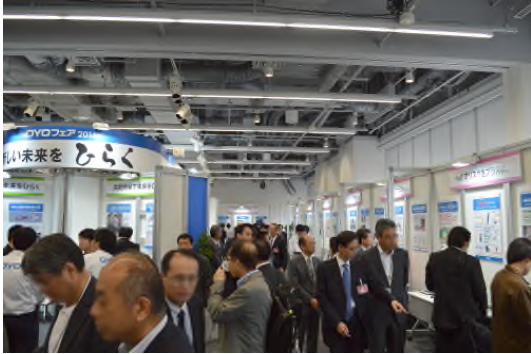


昨年のセミナーの様子

■展示コーナー

- ①防災・減災：
災害時の経済被害予測、構造物安全性評価システム、防災タイムライン等
- ②環境マネジメント：
土壌汚染対策法の改正動向、外来種適性管理、樹木総合診断システム等
- ③社会インフラ：
斜面 CIM、地盤情報取得の高度化、橋梁床盤劣化診断等
- ④資源・エネルギー：
安定供給確保ソリューション、新エネルギー開発支援等
- ⑤スマート社会：
スマートまちづくり（立地適正化、施設管理、交通運行支援）、スマート観光等

その他、60周年記念展示コーナー、機器・デモ体験エリア、未来エリアなど。



昨年の展示会場の様子



以上

【本件に関するお問合せ先】

応用地質株式会社 社長室 川地・橋本

TEL : 03-5577-4501

E-mail : prosight@oyonet.oyo.co.jp